

# ジャポニズム学会国際シンポジウム2019

## 人の移動とジャポニズム

十九世紀半ばの開国と同時に、外交官、お雇い外国人、商人、観光客が日本を訪れ、街並みや風習、職人技や出会いの経験を日記や書簡に記し、工芸品を持ち帰りました。一方、日本から欧米へも、ビジネスや興行、留学や移住を目的とした多様な人の移動があり、彼らは他者の表象となりました。地球上のさまざまな場所で交差したこれらの人の移動は、どのようにジャポニズムの原動力となったのでしょうか。美術品などの物の移動から視点を変えて、人の移動を再検討することで、近代から現代に至るジャポニズムの多種多様な新たな意味を理解することができるでしょう。二〇一九年のジャポニズム学会国際シンポジウムは、旅と移動がもたらしたジャポニズムに関する研究と議論を掘り下げようとするものです。



日時：2019年10月5日（土）  
9時半～17時 受付9時  
会場：国立西洋美術館

主催：ジャポニズム学会／国立西洋美術館／  
公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団  
使用言語：日本語、英語（同時通訳付き）  
定員：120名、参加費無料

ベデカー ガイドブック（松戸市戸定歴史館所蔵）  
撮影協力 戸定邸（旧徳川昭武邸）